

## 婦人科からの耳より情報 第一話「思春期と月経について」

このたび、障害を持つ女性の健康について述べる機会を頂きましたので、年齢にともない変化する女性の身体の変化について、連載させていただきます。

思春期には二次性徴という体の変化そして、月経が14歳位までに認められます。脳性まひの女性は、二次性徴が早めに認められることがあり、薬で二次性徴を抑えることがあります。一方、月経は通常又は遅めに始まります。重度の障害の場合は、逆に二次性徴が遅れますが、月経は通常に認められます。

ダウン症候群の女性は、甲状腺機能が異常である場合があります。無月経や不正出血の原因となります。また、プラダー・ウィリー症候群では、性腺機能低下症を認め、二次性徴や月経がなかったり、遅れたりします。

障害を持つ女性をお世話する人たちから、障害が重度であれば妊娠や出産の可能性は低く、一方で、パットの交換、不正出血、月経前後の体調の変化などの月経にともなうトラブルが大変なので月経は無いほうが楽という意見を伺いますが、月経は止めるべきではないと言われています。女性ホルモンには、女性らしい丸みを帯びた体型にしたり、骨を作る役割があるために、もし月経を止めてしまうと、骨折しやすくなるからです。よって、女性ホルモンが出ていない場合は、骨粗鬆症の予防のために、ホルモン補充療法を行う必要があります。

また、薬の中には月経に影響を与えるものもあります。興奮を抑える薬の一部は乳汁分泌ホルモンを分泌させ、また、バルプロ酸などの抗てんかん薬は、月経に影響をあたえます。月経を正常にするためには、減薬が可能か検討し、難しい場合は、乳汁分泌ホルモンを抑える薬やピルまたは黄体ホルモン剤を内服し、月経を起こします。

第二話は月経に随伴する症状についてお話しします。

ベルデさかい 診療部長 橋本洋之医師



## ベルデ薬局 知っておきたいお薬のお話 その巻 「おしっこの色が違う!？」

今回はお薬によって尿や便に影響が出るものについて書いてみたいと思います。

お薬の有効成分自体は白色であることが多いのですが、体の中で代謝を受け色がついたり尿の成分と反応して着色することがあります。例えばよく使われるお通じのお薬、センナ製剤(プルゼニドやアローゼン、センノシドなど)は尿のアルカリと反応して赤っぽくなることがあります。抗生剤のセフトゾンや咳止めのアスピリンも代謝物により赤っぽくなることがあります。また、鉄剤は吸収しきれなかった鉄分が硫化鉄に変化するため便が黒っぽくなる場合があります。

色ではありませんが、体の中でゆっくり溶けて長く効くように作られたお薬の中には薬の抜け殻のようなものが便に出ることもあります。もちろん、病気などにより出血すると尿や便の色が変わる事もあるので、気になる症状があれば医療機関に相談してみてください。

(べるベルデからの転載です)



## 暮らしに役立つ福祉用語のお話

### No.1 「自立支援給付」と「地域生活支援事業」

ややこしかったり、わかりにくかったりする福祉用語について、少しでも皆さんに理解してもらうことができるようにと、ひとつコーナーをいただきましたのでよろしくお付き合いのほどお願いいたします。

第1回目は、「自立支援給付」と「地域生活支援事業」についてです。

どちらも、障害者総合支援法(障害者の日常生活および社会生活を総合的に支援するための法律)のサービスです。正直なところ、違いをあまり意識しなくても、サービスの利用は可能です。

違うのは、「自立支援給付」は、全国どこに行っても同じサービスが受けられるということです。

それに比べて、「地域生活支援事業」は、地域の特性に応じて行われるもので、各市町村によってサービス内容が変わってきます。例えば、堺市内で転居した場合には何も変わりませんが、市外へ転居した場合には、注意が必要です。移動支援事業(ガイドヘルパー制度)、地域活動支援センターなどがこれにあたります。

わかりにくい場合には、各区の地域福祉課や障害者基幹相談支援センターなどに相談してください。

ベルデさかい 事務次長 森繁樹



この紙面で様々な情報交換もできればと思います。  
掲載希望のお知らせなどがありましたらご連絡ください。



# ■地域支援センター 事業実績と予告■

## 堺ミーティング

	日時	テーマ
第1回	平成27年 7月20日	施設紹介:「ベルデさかいの役割とこれから」 児玉センター長、ベルデ各部署
第2回	9月11日	講義(岸本PT):いのちの入れ物「からだ」への支援
第3回	11月27日	講義(松本OT):豊かな暮らしの活動支援
第4回	平成28年 1月8日	講義(松浦ST):楽しい食事時間の支援
第5回	3月11日	講義(石崎Ns):いのちを紡ぐ医療的ケアの支援
第6回	5月13日	施設・事業紹介 大阪南リハビリ訪問看護ステーション、障友会グループホーム「あいあい」
第7回	7月8日	施設・事業紹介 アシストデイ・アシストナイト(ナイトケア)、えーゆーハウス
第8回	9月9日	施設・事業紹介 ピュアあすなろ、大阪府立堺支援学校
第9回	11月11日	施設・事業紹介 堺市基幹相談支援センター、堺市障害者更生相談所
第10回	平成29年 1月13日	講演 橋本洋之医師 (堺市立重症心身障害者(児)支援センターベルデさかい 診療部長) 「障害女性のライフステージと健康」
第11回	3月10日	施設・事業紹介 じょぶライフだいせん、平成29年度の堺ミーティング計画報告
第12回	5月12日	講演:位田忍医師(大阪母子医療センター副院長・患者支援センター長) 「在宅医療の地域ケアシステム構築での3次病院及び専門医療の役割」
第13回	9月27日	講演:南條浩輝医師(かがやきクリニック院長) 「ちょっとだけがんばればできる小児在宅医療」
第14回	11月17日	講演:長井美樹医師(堺市総合医療センター耳鼻咽喉科・頭頸部外科部長) 「重症心身障害児者や長期臥床患者に適した新たな誤嚥防止術のご紹介」 紹介:堺市総合医療センター(医療連携室 柳川富久美看護師長)「医療・福祉・介護連携」
第15回	平成30年 1月12日	講演:藤井健一医師(耳原総合病院小児科) 「重症心身障害児者とその家族に教えられた事 これまでの経験とこれからの展望」
第16回	平成30年 3月9日	講演:伊藤隆夫PT(全国訪問リハビリテーション協会相談役・前会長) 「地域包括ケアと在宅リハビリテーション—これからの地域に求められるリハ職の役割を考える—」
第17回	9月14日	テーマ:「自立支援について考える-重心自立生活者当事者報告会-」 ※知的に高い重度障害者の自立生活実現への当事者報告会 当事者2名参加
第18回	平成31年 3月1日	テーマ:「自立支援について考える②」 堺区障害者基幹相談支援センターからの事例紹介とディスカッション

## 電動車いすフェスタ

第1回	平成28年12月3日	第2回	平成30年3月11日	第3回	平成30年12月1日
-----	------------	-----	------------	-----	------------

## 介護講習会(ゆびきたす倶楽部)

第1回	平成28年6月19日	第2回	平成29年8月20日	第3回	平成30年6月10日
-----	------------	-----	------------	-----	------------

# ■地域支援センター 事業実績と予告■

## 器具作成講習会(ベルデ製作所)

第1回	平成28年10月16日	第2回	平成30年1月28日	第3回	平成31年3月16日
-----	-------------	-----	------------	-----	------------

## その他の講習会

平成29年 10月22日	大阪府重症心身障がい児者地域ケアシステム整備事業 障がい福祉サービス等体験会・在宅重症心身障がい児者支援者育成研修
--------------	--

## 症例検討会(くおりあ倶楽部)

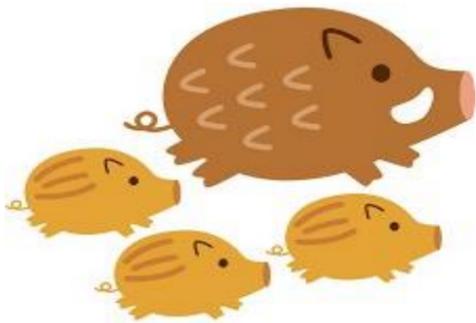
次回は1月25日(金)19時から開催します。今年から原則的に奇数月の第4金曜日に開催予定となります。今年度は第12回、13回、14回を開催しました。

## 健康体操教室

今年度は3回行いました。3月に4回目を開催予定です。

## 地域の生活介護事業所へのお手伝いなどの派遣事業

今年度は事業所の研修会での講演や、リハビリの助言などに職員を派遣させて頂きました。ご依頼・ご相談をいただきましたら、日程のご相談をしてなるべく早期に対応します。



### ベルデ地域支援センターでお手伝いできること

- 地域の生活介護事業所での医療や介護、お薬、リハビリなどに関するご相談や指導
- 職員研修などの講義
- 職員の腰痛予防などの体操指導
- 婦人科に関すること
- その他

電話・FAX、ホームページ、メールなどで、どうぞお気軽にご連絡・ご相談ください



### お問い合わせ・ご連絡先

堺市立重症心身障害者(児)支援センター内  
ベルデ地域支援センター

〒590-0808 堺市堺区旭ヶ丘中町4-3-1

堺市立健康福祉プラザ2階

電話 072-275-8510 FAX 072-243-5900

メール [yuki.zuisen@misasakai.or.jp](mailto:yuki.zuisen@misasakai.or.jp)

(瑞泉祐樹:ずいせんゆうき)

[akito.ozawa@misasakai.or.jp](mailto:akito.ozawa@misasakai.or.jp)

(小澤明人:おざわあきと)